

## 課題解決型高度医療人材養成プログラム 取組の概要と推進委員会からの主なコメント

### テーマ①：アレルギー領域

		整理番号	1
申請担当大学名 (連携大学名)	福井大学 (金沢大学、富山大学)計3大学		
事業名	北陸高度アレルギー専門医療人育成プラン		
事業責任者	福井大学学術研究院医学系部門長・内木 宏延		
<b>事業の概要</b>			
<p>本事業は、北陸3県でアレルギー疾患の専門医療人育成システムの構築を目指す。3大学の強みを生かした最先端のアレルギー診療、アレルギーマーチを中心に胎児期から高齢者までのライフステージに応じた集学的診療・予防の実践、災害対策を学習できる、共通科目や単位互換を導入した相互補完的教育コースを新設する。TV会議システムでの遠隔教育により多施設・多職種連携を推進する。さらに重症難治例や指定難病の好酸球増加疾患など特色ある症例の北陸難治アレルギー疾患データベースを構築し、学会・論文発表に使用して専攻生や教員の意欲を高めると共に、各県のアレルギー疾患医療拠点病院を中心とした地域アレルギー疾患対策に活用し成果を社会に還元する。これらの活動により、専門医・医療機関偏在が問題となる地域でアレルギーの総合診療を実践し、地域医療計画や災害リエゾン活動におけるアレルギー疾患対策の中心的役割を担う人材を育成する。</p>			
<b>推進委員会からの主なコメント</b> ○：優れた点等、●：改善を要する点等			
<p>○アレルギー専門医の少ない北陸地方で福井、金沢、富山の3大学が連携してアレルギー専門医を育成することで診療の均質化が期待される。</p> <p>○北陸アレルギーセミナー・事例検討会・北陸難治アレルギー疾患データベースといった連携大学間の集積的で地域の特色を活かした取組は評価できる。</p> <p>○TV会議システムを発展させ、将来的な地域偏在による遠隔診療に向けての対応を考慮している点は評価できる。</p> <p>●医師を対象として設置する教育プログラムが1年と短く、診療科の枠を超えたアレルギー疾患の治療ができる人材育成には不十分である。</p> <p>●リーダー養成のためにはポストの確保が重要であるが、キャリアパス構想に具体性がない。</p> <p>●金属アレルギーの観点からも、歯科医師の参画が重要と考えるが、積極的な取組が見られない。</p>			